令和８年度第１回倉吉市中学校部活動地域展開等推進協議会（概要）

１　日　時　令和８年５月 22 日（金）午後２時 00 分から午後３時 50 分
２　場　所　倉吉市役所北庁舎　３階　Ａ会議室
３　出席者
（１）委　員　スポーツ協会、中学校 PTA 連合会、スポーツ少年団、中学校体育連盟、中学校文化連盟学校運営協議会、鳥取県教育委員会事務局体育保健課
（２）事務局　教育長、事務局長、学校教育課、社会教育課
４　報告事項
（１）中学校部活動地域展開等に向けた現状把握・意見聴取の結果について
【主な意見等】
（委　員）地域認定クラブの要件は、勝利至上主義ではないことが謳われている。部活動に近い要件となっているので、選抜して選手を集めるチームは認められていない。
（委　員）認定地域クラブの認定要件に従えば、練習時間等が制限される。ガイドラインに沿った活動であるのか、基準を満たしているのか市町の確認が必要となる。
（委　員）部活動地域展開等に係る共通課題として、指導者不足、会場確保、運営経費、大会制度、保護者送迎の５点になる。地域クラブの運営経費は、なかなか見えてこない。
（２）倉吉市中学校部活動地域展開に係るモデル事業等について
【主な意見等】
（委　員）この推進協議会で話している地域展開は、平日は学校、休日は地域で活動なので、平日に部活動をしている生徒の休日の活動場所の確保が必要。平日も休日も地域クラブで活動となれば、受入れる地域クラブは結構あると思うが、平日は学校で、休日は地域クラブで活動となると受入可能と回答した団体数も変わってくる。
（委　員）陸上競技協会では、中学生の指導者が足りないので、中部地区全体で展開している。休日の部活動は強制なのか聞いてほしいとあった。
（事務局）個人競技と団体競技との違いがあり、団体競技で休日は参加しませんということにはならないと思うが、強制ではない。
（委　員）市内中学校生徒のバスケット部員が 148 人もいるが、休日の部活動地域展開となると、既存クラブ数では、生徒が活動する場となる団体数が足りない。資料に地域展開可能とあるが、クエスチョンという気がする。
（委　員）人数の問題で言えば、中学生を受入れていないスポ少が中学生を受入れるとなれば、０人のところに少し人数が増える程度となるので、受入れていただける可能性はある。
（委　員）イメージとして地域クラブに入らずに部活で頑張る生徒を休日だけ練習に参加させてというのは可能なのか。
（委　員）団体競技では作戦があり、休日だけ地域クラブで活動というのは、難しい。
（委　員）地域クラブにも理解していただき、生徒受入の許容範囲を広げてもらうことも考えないと地域展開は難しい。スポ少の範囲を広げて、中学生が入っても問題ないなど、今までの感覚でスポ少は小学生、中学生は部活動という昔のイメージを変えないと進まない。
（事務局）地域クラブの認定は、市町が最終責任になるが、各競技協会とも共通理解を図りながら、協会と同じ意見のもと、最終結論を出すことができれば大変助かる。
（委　員）認定地域クラブに関する様式はできているのか。また、国の補助金の３分の１が市の持ち出しとなるのか。郡部の生徒が参加しても補助金の割合はどうなるのか。

（事務局）本市の認定に係る様式は、まだできていない。補助金の市の負担は３分の１であり、広域の認定地域クラブを認めるのかどうかというのは市町の判断になるが、市の団体が他町へ行って認定地域クラブになった時の所属市町の人数割合の規定もあるのか。

（委　員）お互いの市町が納得できるかというところで、特に規定はない。ただ、市民しか補助対象としないというところもあり、広域認定地域クラブが成立しにくい現状もある。

（委　員）学校に部活動はないが、受入れ可能な競技を含め子どもたちに何らかの形で情報提供をしたい。しかし最近は、学校を通じてチラシを配るだけでも断られる。こういう活動があるという情報を子どもたちに伝わるよう検討していただきたい。

（委　員）休日は、部活動を行わないとした時に、学校での部活動数が少ないので、平日の部活動とは違う活動をする生徒も出てくる。休日の活動は選択できるとなれば、休日は休む、部活動と同じ競技に参加、部活動と違う競技に参加するなど選択肢が広がる。

（事務局）部活動に加入する生徒が減少してくると思うが、生徒の選択肢が広がる。普段は卓球をしているが、休日はダンス教室に通いたいなど、違った方向に目を向けられるようなことに繋がっていくかもしれない。

（委　員）ある市では、教員がクラブチームを立ち上げ、定時退勤し、夜に自分のクラブチームで指導していると聞いた。地域展開となれば教員の中にも指導したい方はいると思う。

（委　員）教職員が部活動に関わりたいというのは２割程度だった。今、兼業兼職の届を出して関わりたい人がどの程度いるのかは把握されてもいいのではないか。

（事務局）人材確保は重要課題なので、中学校だけでなく、小学校教員も含め、兼職兼業で地域の指導者としての関わりをどう考えているのか聴取してみたい。種目も確認したい。

（３）次回の推進協議会について

（事務局）次回、第２回推進協議会は９月に開催できればと考えている。協議事項は、地域展開の課題となる①地域クラブ活動運営団体の確保と支援（認定地域クラブの要件）、②指導者の育成・確保（兼職兼業）、③活動の場所、④移動手段、⑤費用負担の在り方について協議していただくよう考えている。８月頃に、これまでいただいた意見やアンケート結果等を踏まえて事務局で整理したものを事前に届けたいと思う。

５　今後の予定

（１）倉吉市中学校部活動地域展開等推進協議会の意見書（素案）の検討

（２）認定地域クラブの要件の検討

（３）部活動の地域展開に伴う「兼職兼業」に関する意向調査結果（報告）

６　閉　　会